

平成30年度 支部看護師職能委員 I 交流会 アンケート結果

開催：平成30年9月7日（金）10：00～14：00 岩手県看護協会研修センター

参加者：9名

アンケート回収率：100%

<回答結果>

1. 交流会開催時期について

1) 開催時期はいかがでしたか

		理 由
良かった	9名 (100%)	・ラッシュ時間にあわず来られたので良かった ・暑くも寒くもなく良かった
悪かった	0名	

2) 曜日の設定はいかがでしたか

		理 由
良かった	9名 (100%)	・次の日が土曜日で良かった ・土日だと子供の行事があるので出席は難しい
悪かった	0名	

3) 時間の配分はいかがでしたか

		理 由
良かった	9名 (100%)	・集中できる時間で長くもなく短くもなく良かった ・GWの時間がもう少しあれば良かった ・進行、時間管理が適切で良かった
悪かった	0名	

2. 「地域包括ケアの中の保健師の役割」について

		理 由
理解できた	3名 (89%)	・病院から在宅への支援の際に関わりを持っていたが、他の関わりも聞けたので参考になった ・保健師の業務内容が年々増加している現状は医療従事者として理解している ・保健師は地域の幅広い人に関わっている事が良くわかった ・保健師職能委員長の説明と資料から保健師の関わりがわかった ・多少理解できたが、支部の地域包括ケア保健師の話聞いてくればより理解できたと思う ・保健師の役割が少しでも理解できた
わからなかった	0名	
どちらとも言えない	1名 (11%)	・保健師の位置づけについては理解できたが、地域包括ケアの中での保健師の役割については具体例が少なくもう少し聞けると良かった

3. 保健師と看護師の連携について、自支部でどのような取り組みや工夫ができると思いますか
- ・看護協会の地区支部の会議に地域の保健師や介護職員などをオブザーバーとして招待する。
 - ・お互いの仕事内容を理解していく。
 - ・自地区の保健師の業務を知り、看護師と共有していく。役割や業務を知ることで今後連携につなげていきたい。
 - ・役割を知ることができたので支部の委員会（月1回の会合）で直接保健師の仕事について確認し情報共有できればと思う。
 - ・退院支援やMSWへのつながりなど、院内の連携を図る（MSWから保健師へ。退院支援から保健へ）。
 - ・連携はうまくいっているが、今後お互いの職種が前進し役割発揮できるように意識づけを実施する。
 - ・自地区で研修内容の共有
 - ・どの程度関わっていったら良いかについて、連絡の仕方など疑問に思われていることを会議の際、保健師に伝えてみる。持ち帰ってもらい検討してもらおうと次につなげられるのではないかな。
 - ・看看連携でそれぞれの情報を共有する場を設けている。今日の話その場で話してみたい。
 - ・入院する前の健康は保健師が関わり、入院中は看護師が関わり、退院調整の際は多職種の連携の中に保健師にも声をかけ、退院後の生活の支援・ケアにつながるようになれば良いと思う。

4. インターネット配信研修について

		理 由
良かった	9名 (100%)	<ul style="list-style-type: none"> ・自分では見る機会がなかったので、どういものか知ることができた ・興味のある内容はこれから見ていきたいと思った ・自宅にいながら研修できるため時間に無駄がない ・在宅で研修を受けることができるため ・自分でも見ることができが、なかなか見ないので良かった
悪かった	0名	

5. 今後、看護師職能委員会 I 交流会で企画してほしい内容

- ・看護師職能 I 交流会でしたが、看護師と同じ支部の保健師も一緒に参加できたらより良い交流会になったのかなと思う。
- ・入退院支援についての状況や今後の課題を知りたい。
- ・地域の方も参加したGWを行って欲しい。
- ・多職種で支えていく地域緩和ケアについて
- ・今回のように看護師と保健師の連携であれば両職種が一緒に集まり交流会がもてたら良いと思った。

6. その他意見

- ・今回の研修会に保健師の参加がなく残念であった。医療者側の意見・課題が提示されたが保健師の現状・課題、意見があったはずである。良い関係構築にも保健師の参加を希望する
- ・もう少し早い時期に連絡をいただくとありがたい
- ・今回のように少人数のGWで書記を気にせず話し合える形が緊張なくて良い。ありがとうございました。